**２０２０年１２月０１日作成（第７版）
*２０１３年１０月０１日作成（第６版）
医療機器製造販売届出 No. ：11B3X00031000017

機械器具２６　医療用遠心ちんでん器

一般医療機器　ヘマトクリット用遠心器(JMDNコード:32429000)

ヘマトクリット遠心機　Ｈ－１２００Ｆ

【警　告】

・ロータやバケットは最高回転数以下で使用すること。
［ロータやバケットが破損して遠心機が壊れたり人身事故につながる恐れがある。］
・ロータの締めつけネジが緩んでいないかを確認すること。
［締めつけネジが緩んだまま運転するとモーターシャフトから外れて遠心機が壊れたり外に飛び出す恐れがあります。］
・回転中に異常振動や異常音が発生したら使用を中止し電源を切ること。

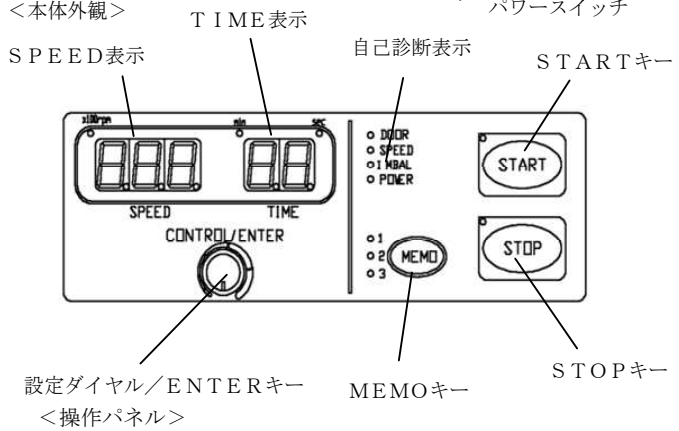
【禁忌・禁止】

・本機を凹凸面の床面、弱い床面及び傾斜した床面に設置しないこと。
［防振装置が働かなくなったり、遠心機の破損や事故につながる恐れがあります。］
・本機の回転中は移動したり振動を加えたりしないこと。
［防振装置が働かなくなり破損や事故につながる恐れがあります。］
・本機の回転中は絶対にドアを開けないこと。
［回転しているロータやバケットに触れると大ケガをする恐れがあります。］
・ガス滅菌、オートクレーブ、乾熱滅菌は使用しないこと。

【形状・構造等】



＜本体外観＞



＜操作パネル＞

標準付属品

添付文書	１部
取扱説明書	１冊
検査合格書	１部
毛細管	１ケース（ＣＴ－０１）
パッキンゴム	１本（ＲＣ－０８０）
カーボンブラシ	１組（ＣＢ－０６）
計測盤	１枚（ＳＣ－０１）
クリットシール	１枚（ＣＣ－０１）
ヒューズ	１本（ＥＦ－２１１０）

【使用目的、効能又は効果】

本機は、分析、検査を行うのに必要な前処理を行うヘマトクリット遠心機です。モータ部、その一部である垂直シャフト上部に取り付けられた水平ロータを回転させ、毛細管に入った血液試料をに遠心力を与え急速処理して濃縮血液の量を定量する。

一般名称の定義：遠心力を応用して、懸濁液の成分を分離するために、検査室で用いる機器をいう。通常、電動駆動装置その一部である垂直シャフト、垂直シャフト上部先端に取り付けられた水平ロータから構成される。通常卓上機器で 10000rpm 以上の速度で運転し血液試料を急速に処理して濃縮血液の量を定量する。

【品目仕様等】

最高回転数	：１２０００ rpm
最大遠心力	：１５０００ ×g
容量×架数	：毛細管×３０本（Ｆ－３０Ｍ） 毛細管×２０本/１５ml×４本（Ｆ－２０Ｇ） ２ml×２４本（Ｆ－２４Ｇ）
制御	：マイクロコンピュータ＋インバータ制御
回転計	：１００rpm～１２０００rpm　ディジタル表示 １００rpm 単位で設定可能
タイマー	：１分～９９分ディジタル表示 １分単位で設定可　Hold 付き １秒～９９秒ディジタル表示 １秒単位で設定可　Hold 付き
記憶数	：３メモリー（ＳＰＥＥＤ、ＴＩＭＥ）
モータ	：高周波モータ（カーボンレス）
電源	：ＡＣ１００Ｖ　１φ　５Ａ　０．５ｋＶＡ
寸法	：幅２８０ ㎜×奥行き３４６ ㎜ ×高３００㎜
重量	：約１５ kg

【操作方法又は使用方法等】

１．設置方法

1－1 準備

1－1－１　設置

本機はしっかりとした水平なところに設置する。
風通しが良くほこりの少ないところに設置し、本機から壁まで２０ｃｍ以上離し、適正な温度、湿度、気圧で使用する。

（適正使用環境）
温度　１５～３５℃
湿度　３０～７５％
気圧　８９９～１０６０ｈＰａ

＜注意＞

・適正な温度、湿度、気圧で使用すること。
［適正な使用環境を越えて使用すると電気系統の故障の原因となる恐れがあります。］

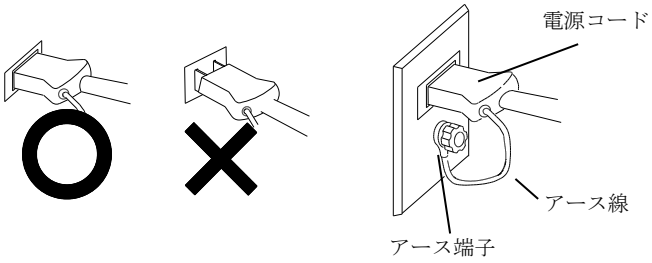
取扱説明書を必ずご参照下さい。

１－1－2.　電源

電源は単相ＡＣ１００Ｖ，５０Ｈｚまたは６０Ｈｚ、電流容量１５Ａ以上で電圧の変動が９０Ｖ～１１０Ｖの範囲のコンセントに本機の電源プラグを直接差し込んで下さい。

＜注意＞

・電源プラグはしっかりコンセントに差し込むこと。
［電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていないと、発熱して火災の原因となる恐れがあります。］
・必ずアースをとること。
［設置しないと万一漏電したとき、感電や電気的破損事故を起こす恐れがあります。］



＜電源プラグのコンセントへの差し込み図＞

1-2. ドアの取り扱い方法

＜注意＞

・回転しているときは、絶対にドアを開けないこと。
［停電や故障したばかりのときは､ロータが回転しています。必ず停止するまで待ってから、ドアを開けて下さい。回転しているロータに触れると大けがをする恐れがあります。］

2. 使用方法

①ＴＩＭＥダイヤルを０の位置に戻します。
②パワースイッチのレバーを上にあげてＯＮにします。
パワーランプが点灯します。
③毛細管をロータの溝に点対称の位置にセットします。
毛細管が正確にロータの溝に入っていないと破損することがあります。
本数が少ないと音が高くなりますが異常ではありません。
④ロータ蓋をプッシュボタンを持ってロータに取り付けます。
⑤ＴＩＭＥダイヤルで希望の時間をセットします。
ＴＩＭＥダイヤルは７分以上時計方向にまわしてから、戻すようにして希望の時間をセットします。
希望の時間をセットすると同時に加速します。

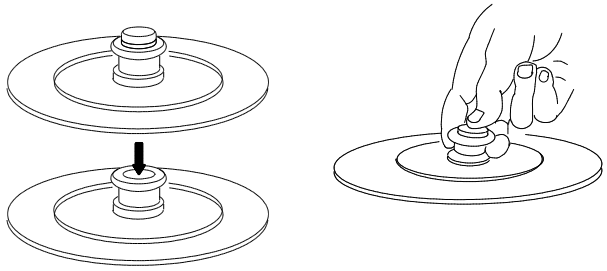
終了するときはパワースイッチのレバーを下げてＯＦＦにします。

＜注意＞

樹脂性毛細管は熱による変形のおそれがありますからガラス性の毛細管を使用することをお勧めします。

3. ロータ蓋の着脱

ロータの蓋は図のようにプッシュボタンを押しながら脱着してください。
ロータにセットされると赤いラインが見えます



【使用上の注意】

1．使用前の作業点検
・本体に付属している取扱説明書を必ず読み、不明な点があれば、取扱説明書で再度確認してから使用すること。
・使用する前は、始業点検を必ず行い、設置状況、スイッチの接続状況、表示ランプ、出力などの点検を行い、正常に動作することを確認してから使用すること。

2．ﾄﾞｱの取扱い
・回転しているときは、絶対にドアを開けないこと。
［停電や故障したばかりのときは、ロータが回転しています。必ず停止するまで待ってから、ドアを開けて下さい。回転しているロータに手を触れると大けがをする恐れがあります。］

3．試料とチューブのセット
・チューブは点対称の位置にセットすること。
[バランスをとってもチューブが点対称の位置になっていないと、バランスが崩れ異常振動が発生して破損事故の原因となる恐れがある。]

4．ロータとバケットのセット
・ニューム管はロータに全てセットする。

【保守点検に係る事項】

1．保守点検
①本機の使用、保守点検の責任は、使用者側にあります。
②保守保管を行うにあたり、点検責任者、点検場所、点検記録、保管場所を決めて正しい運用を心がけること。
③保守点検は、本機の取扱い説明書をよく読んで、点検事項の励行、修理依頼の判断をして安全な運用を行うこと。
④日常点検・保守は必ず毎日行うこと。
⑤始業点検は、本機を使用する前日、或いは直前に行うこと。
⑥就業点検は、本機使用中に異常がなかった場合は、主に清掃等を中心に行う。

2．日常点検
①ロータ（回転板）などに傷、腐蝕、変形がないかを確認し、異常が認められた場合は製造販売元へ連絡する。
［ロータが破損したり、外れることもあり大変危険です。］
②ロータの固定ナットが緩んでいないかを確認し、緩んでいるときは、しっかりと締め付けてから使用する。
［緩んだまま回転すると固定ナットが外れて事故の原因になります。］
③ロータ、チャンバー内などが汚れていないか確認し、汚れている場合はきれいに拭き取る。
［モータに水がかかると故障の原因となるので､チャンバーの水洗いはできません。］
④チャンバー内に異物がないか確認し、異物がある場合は回転する前に取り除く。
［チューブなどがチャンバー内に入ったまま回転させると、ロータが破損する恐れがあります。］

3．洗浄
①チャンバの洗浄
水や洗剤をしみ込ませた布等で、汚れを拭き取ります。
金属を腐蝕させる薬品（次亜塩素酸ソーダ等）の使用やチャンバの水洗いは行わないこと。
［モータ水がかかると故障の原因となります。］
②ロータの洗浄
中性洗剤を含ませた温水に浸してから洗浄し、蒸留水ですすぎ自然乾燥させます。

4．消毒
消毒は煮沸消毒（１００℃まで）か金属（ロータはステンレス鋳物またはアルミ合金）が腐蝕しない薬品を使用してください。

＜注意＞

・ガス滅菌、オートクレーブ、乾熱滅菌は使用しないこと。
［１００℃を超える熱は変形や強度の劣化の原因となります。］

取扱説明書を必ずご参照下さい。

５．ヒューズの交換方法

ヒューズは本体後側のヒューズホルダーの中に入っています。
キャップは反時計方向に回転させると外れます。
新しい１０Ａの管型ヒューズと交換してください。

＜注意＞

・コンセントからプラグを抜いてから、ヒューズを交換すること。
［感電することがあります。］
・下記の規格外のヒューズは使用しないこと。
管型ヒューズ　１０Ａ
φ６．３×３２㎜　ガラス管入り

６．修理・故障

故障したときは、機器に点検必要・修理必要など適切な表示を行い、製造販売元に下記内容を連絡する。

①本体型式・・・・・・本機はH-１２００Ｆ
②ロータ型式・・・・・？
③購入年月・・・・・・？
④製造番号・・・・・・？
⑤故障状況・・・・・・できる限り詳しい状況

７．保証
本製品の保証期間は購入日から１年間です。**

＜製造販売元連絡先＞

製造販売元名称　：　株式会社コクサン

東京　〒338-0832　埼玉県さいたま市桜区西堀７－８－１６*
TEL 048-853-5531
FAX 048-853-7877

大阪　〒532-0011　大阪府大阪市淀川区西中島４－１３－６ *
（田井中ビル）
TEL 06-6308-7326
FAX 06-6308-7327

九州　〒802-0002　福岡県北九州市小倉北区京町３－１４－１１*
五十鈴ビル本館５０２号室
TEL 093-533-1435
FAX 093-533-1436

【包装】

紙製段ボールによる梱包　　１台

【主要文献及び文献請求先】

株式会社コクサン　東京営業部
埼玉県さいたま市桜区西堀７－８－１６*
TEL 048-853-5531

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称及び住所等】

製造販売業者：　株式会社コクサン　浦和工場
埼玉県さいたま市桜区西堀７－８－１６
電話番号　　：　048-853-7711

製造業者：　　株式会社コクサン　浦和工場
埼玉県さいたま市桜区西堀７－８－１６
電話番号　　：　048-853-7711

取扱説明書を必ずご参照下さい。